



溫
故
雜
帖

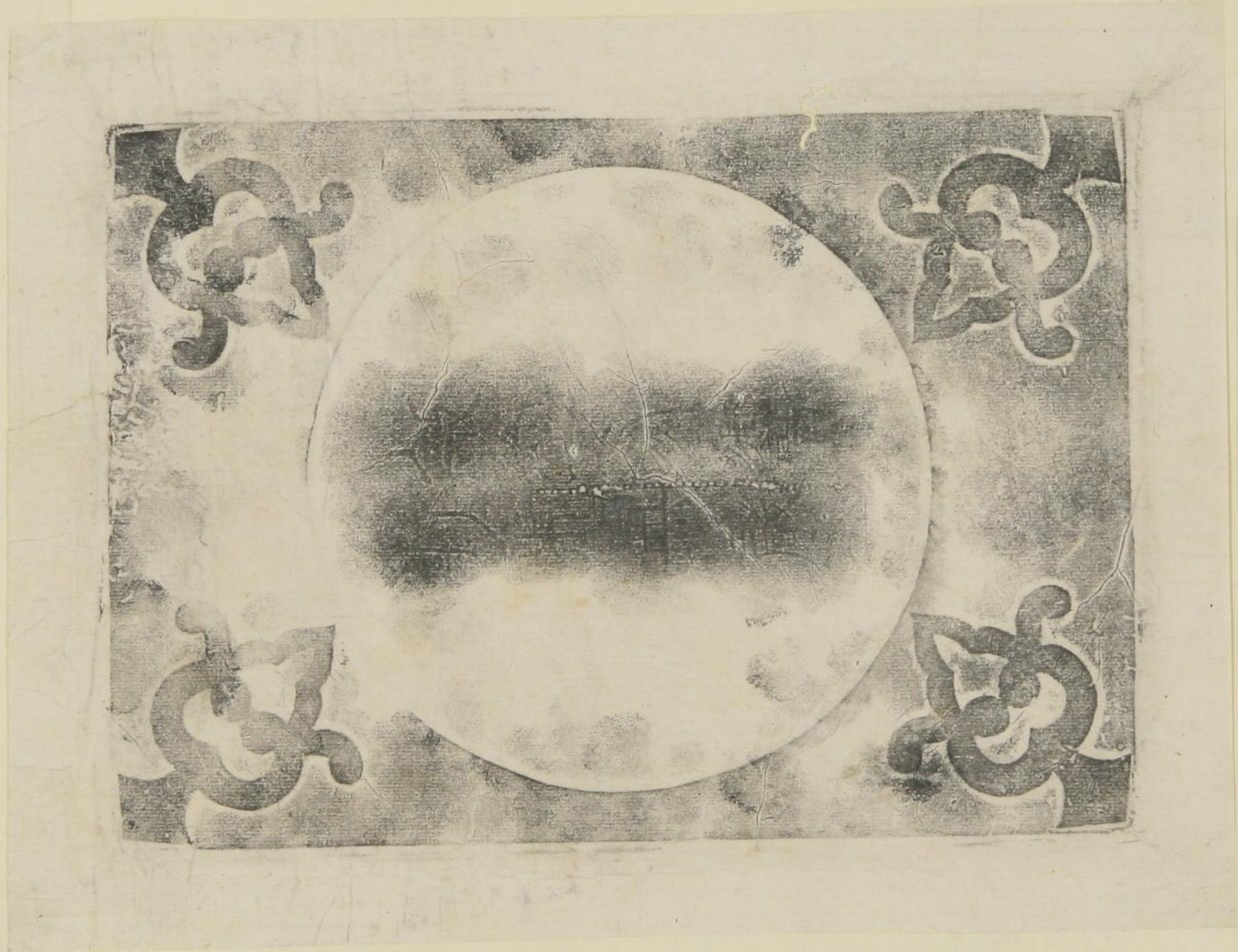
年
五

2715
15



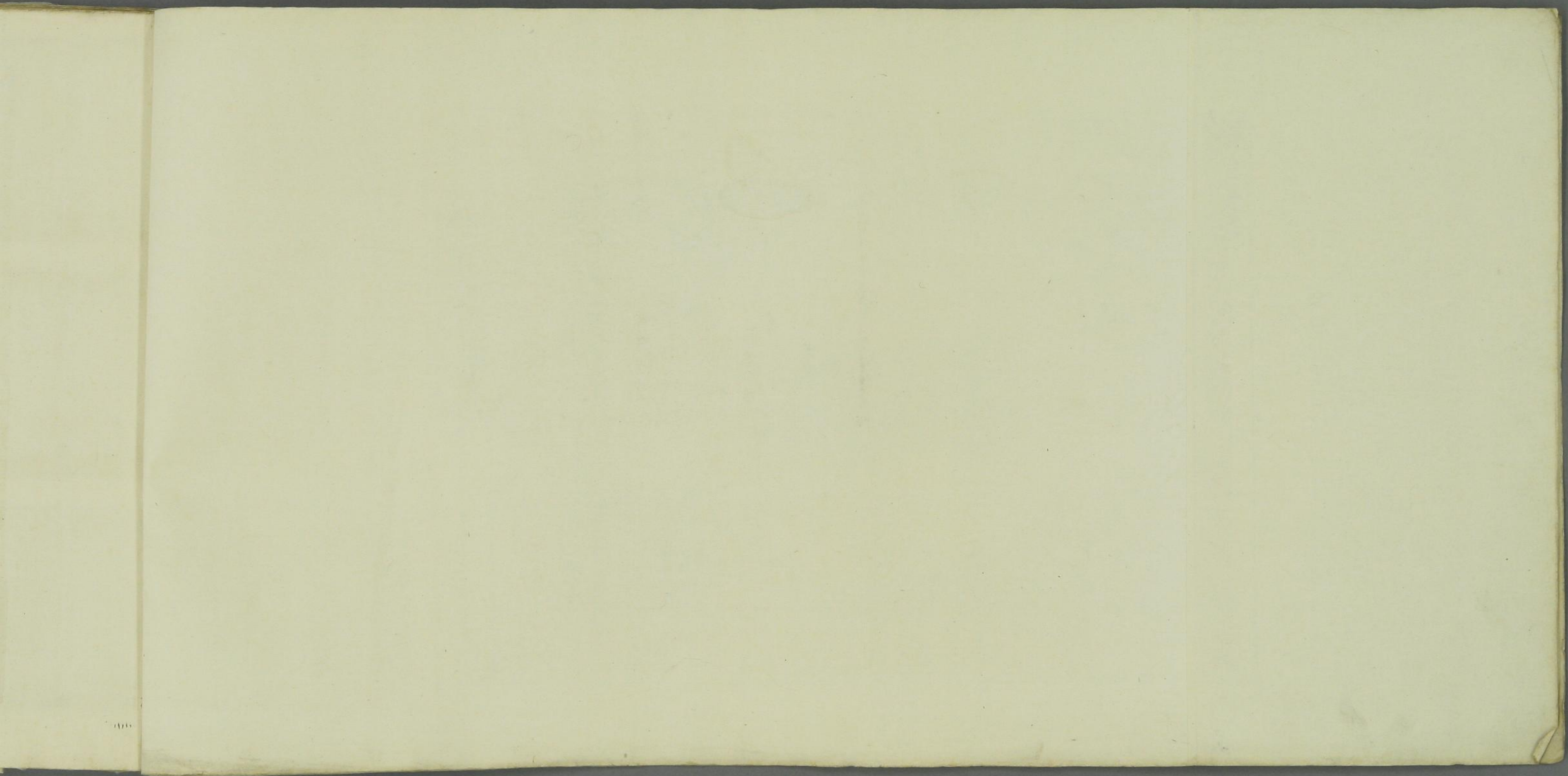
第十五卷

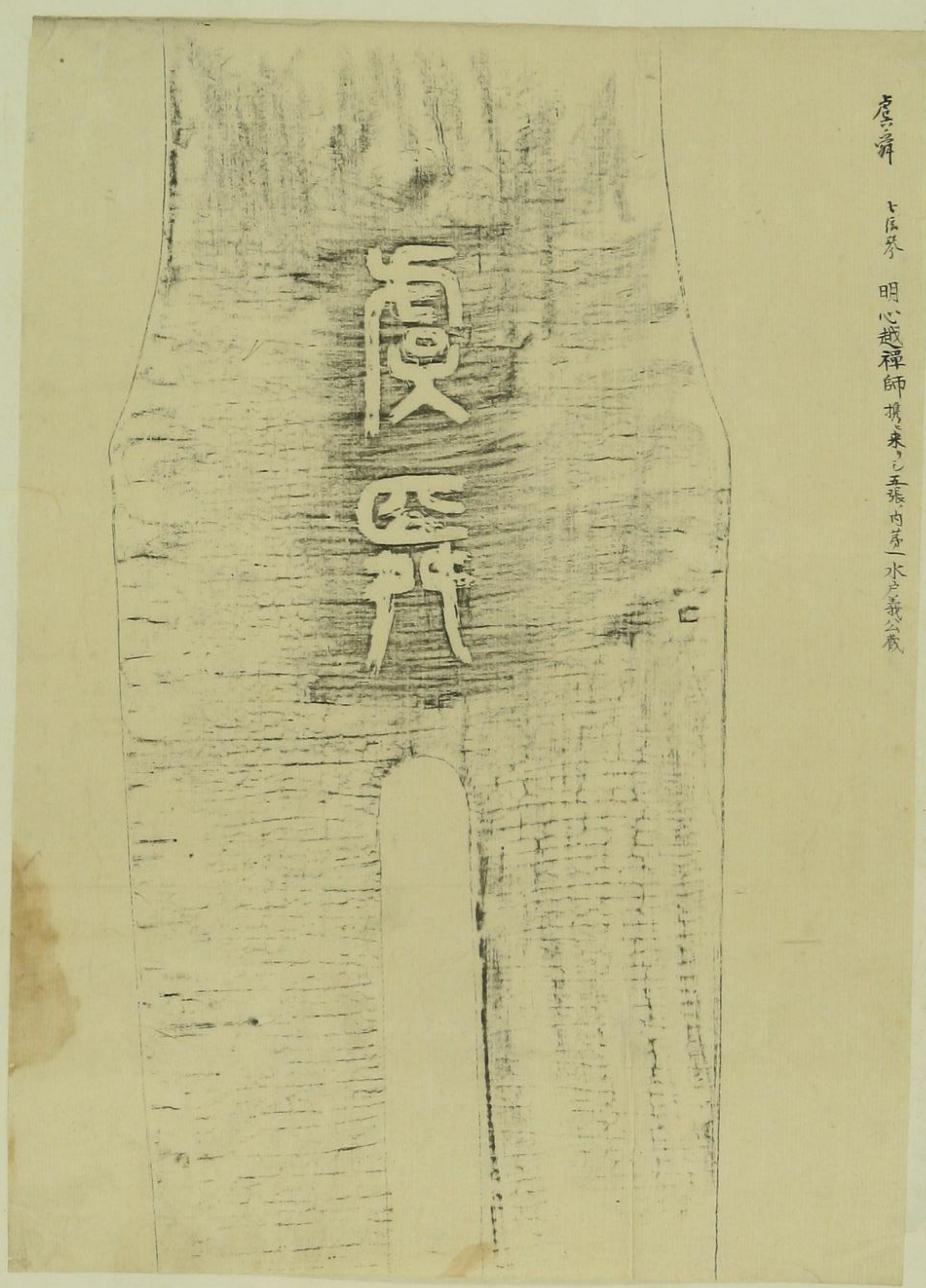
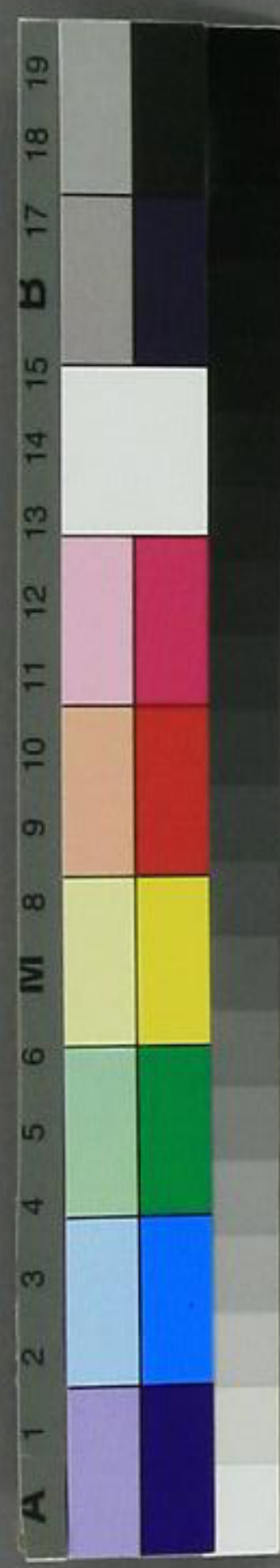
相模早寺藏三藏經卷一	一
明心經師時集注卷一	一
廣西三原原道寺寺銘	八
字法橋碑	一
敬後保夜宮社神代字	一
去和國差官政碑	一
土野國山及村觀音堂碑	一
親遠氣造像銘	一
南野東師寺碑	六
本長寺經山早人石	二
多切碑	一



宗祇道和一首詠
宗祇道和一首詠
宗祇道和一首詠
宗祇道和一首詠







復
匠
門

唐三解
七法琴
明心越禪師携來已五張內第一水戶義公藏



部

富

武
錄

節

集

監

牛
真

風

於

有

繼

禮

調
練

壽

城

於

舞

禮

心



陸

飛

舞

子

孫

康

道

道

山

陽

南

陽

鐘

樓

公

寺

陸

東

府

廳

堂

碑

康
道

謹

謹

成

與
精
靈

谷

千

山
麓

之

參
為

學
亦

復

百

萬
年

之

光

耀



刻
石
經
卷
之
一

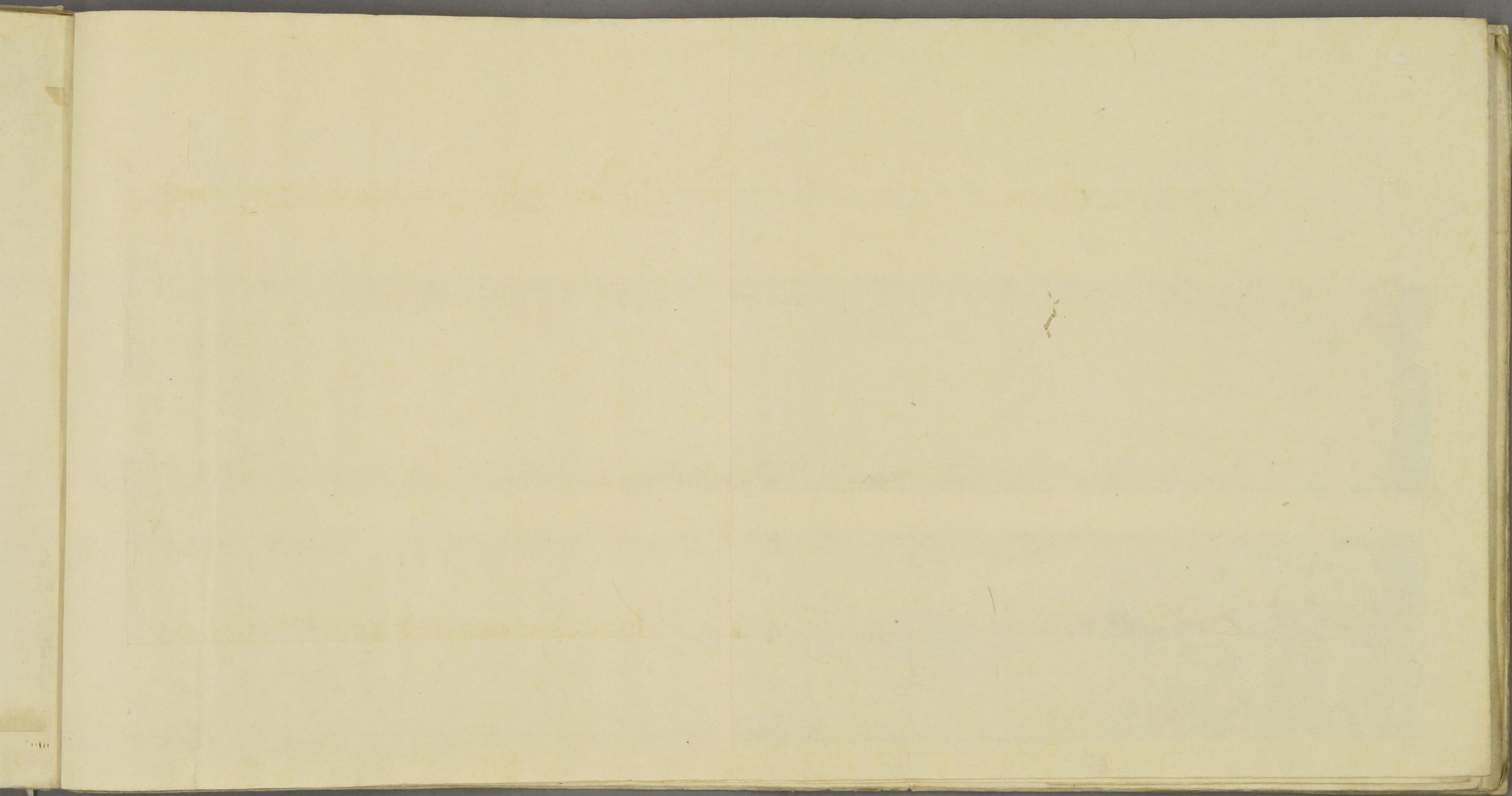
第
一
卷
第
一
章

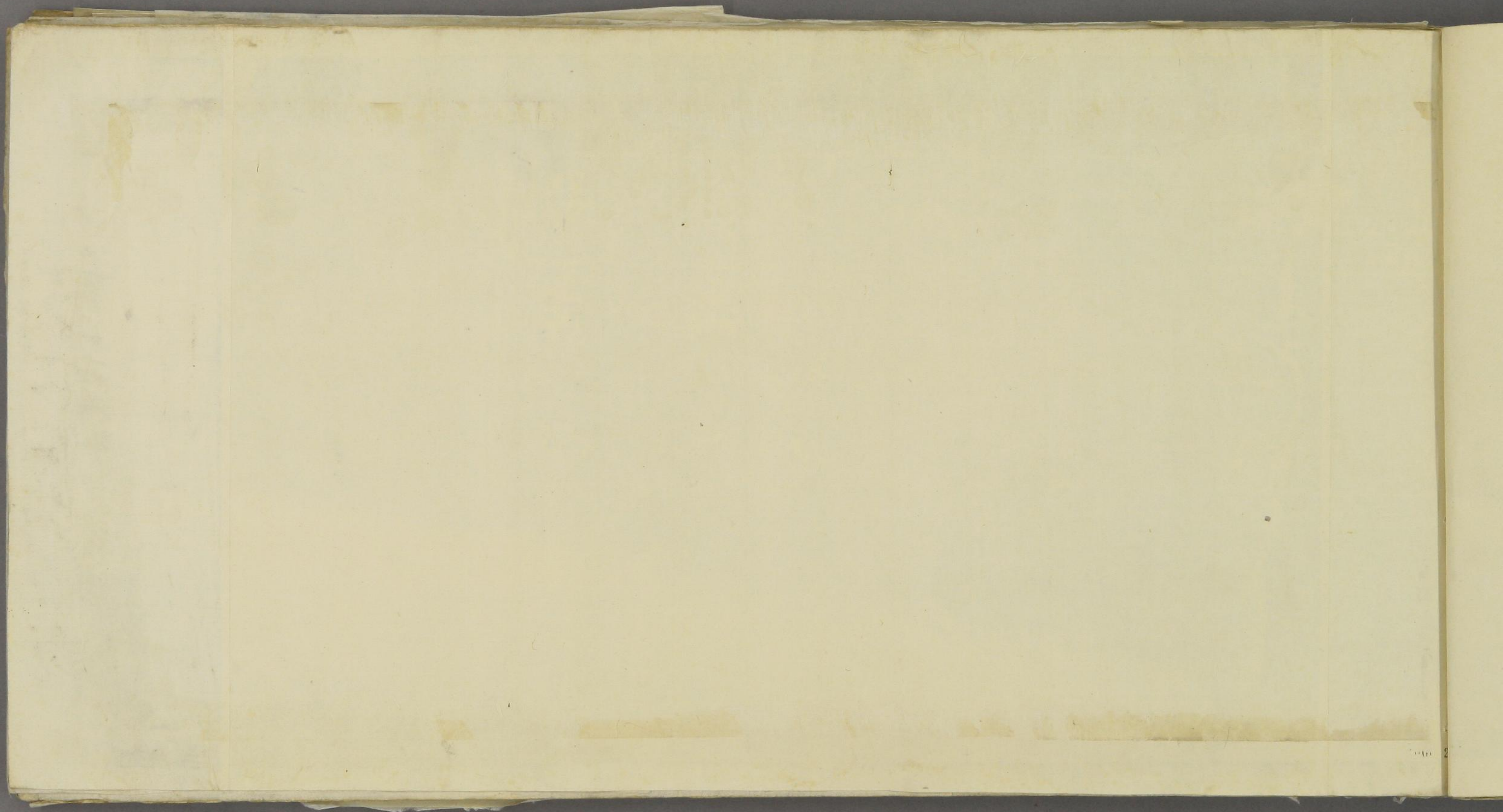
第
一
章
第
一
節
第
一
條



十
國
人
以
爲
此
國
國
人

地
名
曰
曰
曰
曰
曰
曰
曰

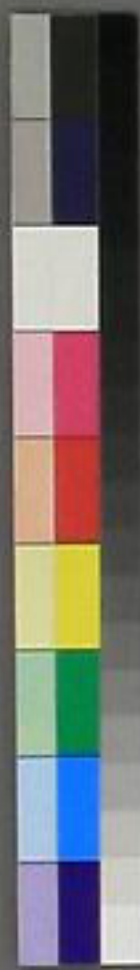




泥泥橫流 其疾如箭 修心入 傳騎成市 後赴重源 今馬亡命 迄古至今 莫不驚懼

世有糶子 名曰道登 出自山 鹿滿文家 大化二年 丙午之歲 橫出此稿 法度不畜

即因微善 爰發大願 結因此稿 成果報身 法界衆生 普同此願 夢寐冥冥中 真其苦後



1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50

傳騎成布 後赴重源 今馬亡命 從古至今 莫不馳驅

萬滿文家 大化二年 丙午之歲 橫道此稿 濟度今畜

成累被弄 法界衆生 普同此願 夢裏空中 真其苦得



越後伊夜比古神社傳記神世字

八意思命兼大神は思慮の本神也
 其子向々乎へ給ふ事し公言成く
 其更なり藤原部廣成宿禰命は古
 道法精成也と云ふ事也道法
 と云ふ古語拾遺子著はこれ菅原
 道直朝臣命八其御言も國字之
 所要非和魂漢才不能爾其國與
 命と云ふ世世文道の神と云ふ事
 へは此三訓を我ら古語を讀み給
 神と云ふ事也藤原部廣成宿禰命
 是長大人と云ふ世世を說明し
 給へき右三訓を加へて予ら其
 奉りて其思慮精成の故に其神
 子等志し藤原部廣成宿禰命
 を書きて得たると云ふ事也右三訓
 を書くこと其方は一と云ふ事也
 右三訓の人の勸先伊夜比古神
 始也越後伊夜比古神社神世字
 傳記は此及して又其の一枝り
 板亦附く此を故と云ふ事也與
 及子世世古道法思慮一厚り人
 常事と云ふ思慮子に祈り廣成宿
 思ひ余り也

大政二七卯年 平馬胤成
 正月二日



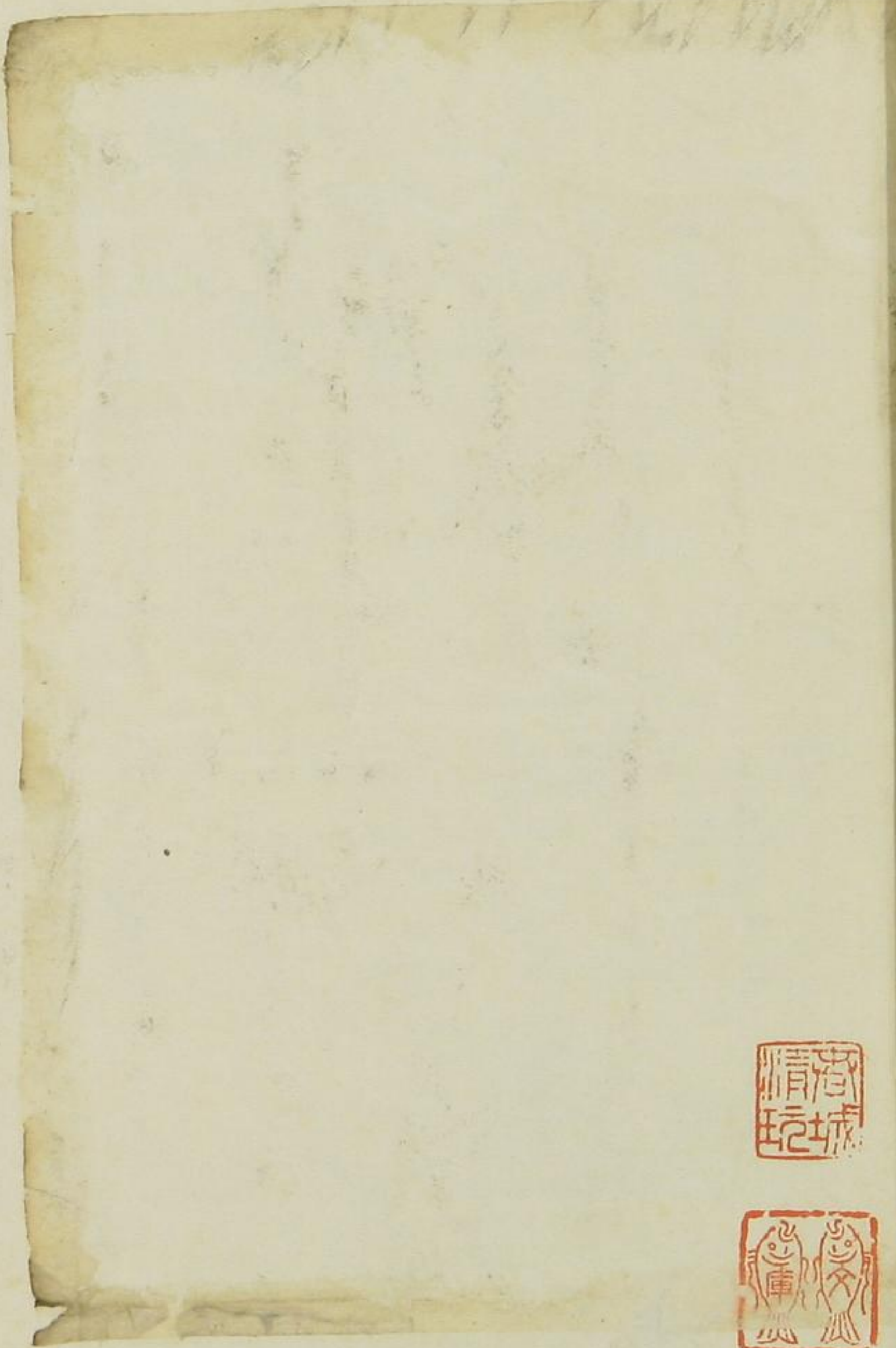
大和國秦坂碑

大和國秦良坂碑

三	大	養	所	太	之	大
日	十	者	也	上	宮	倭
元	二	五		天	歌	國
酉	月	年		皇	字	倭
癸	亥	數		之	八	上
	十	次		陵	朔	郡
	朔	辛		是		平
	十	酉		其		城







和多位年分止守都志所都利

和多位年分止守都志所都利

和多位年分止守都志所都利

和多位年分止守都志所都利

和多位年分止守都志所都利

和多位年分止守都志所都利

和多位年分止守都志所都利

和多位年分止守都志所都利

和多位年分止守都志所都利

和多位年分止守都志所都利

和多位年分止守都志所都利

石 214

為乃美術上伊波爾都志於彼由後...

須理師披都 稱乃母阿孔音...

為美阿止于麻波利麻都...

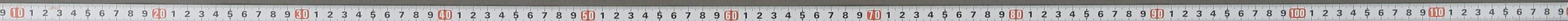
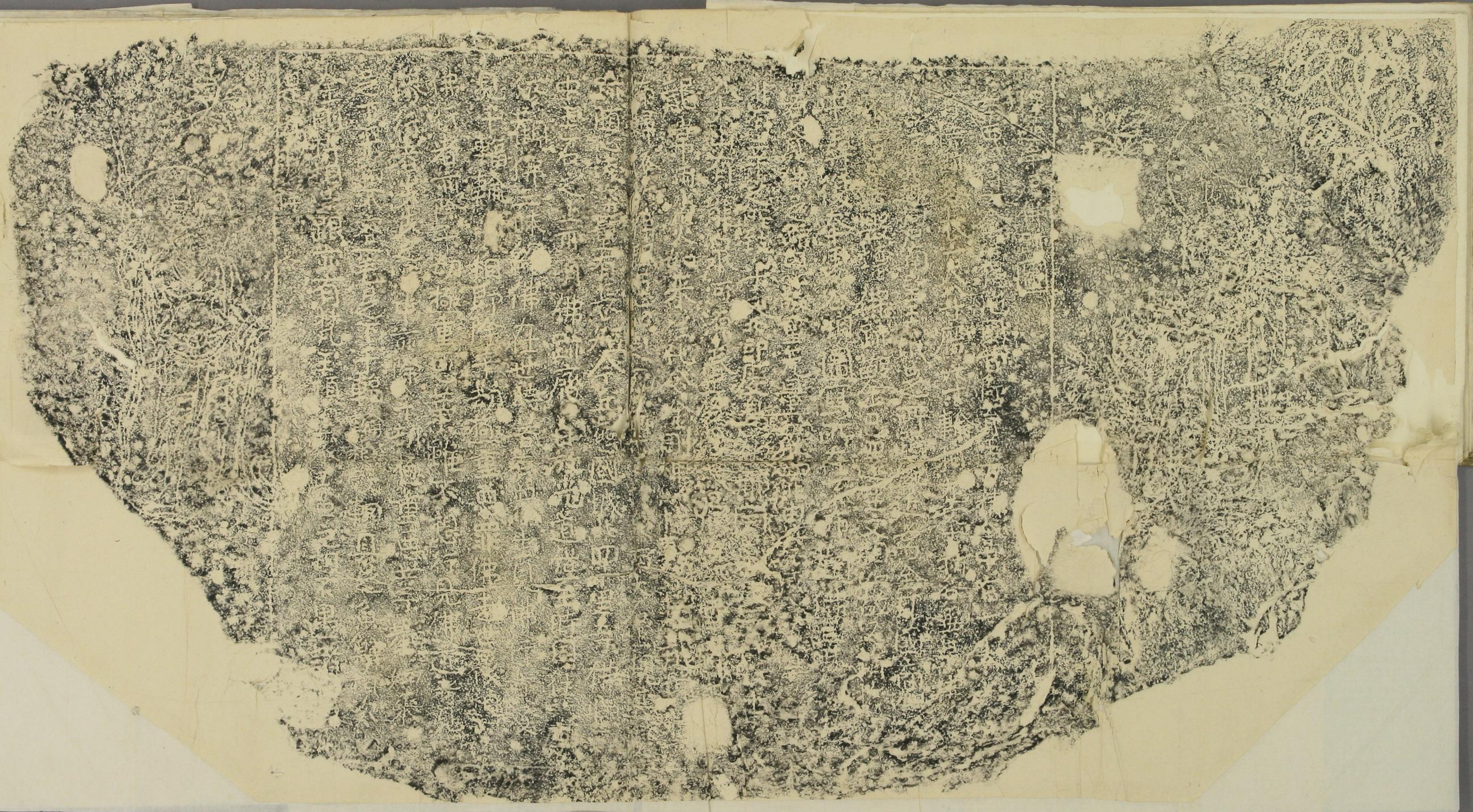
信兼阿止母美亦...

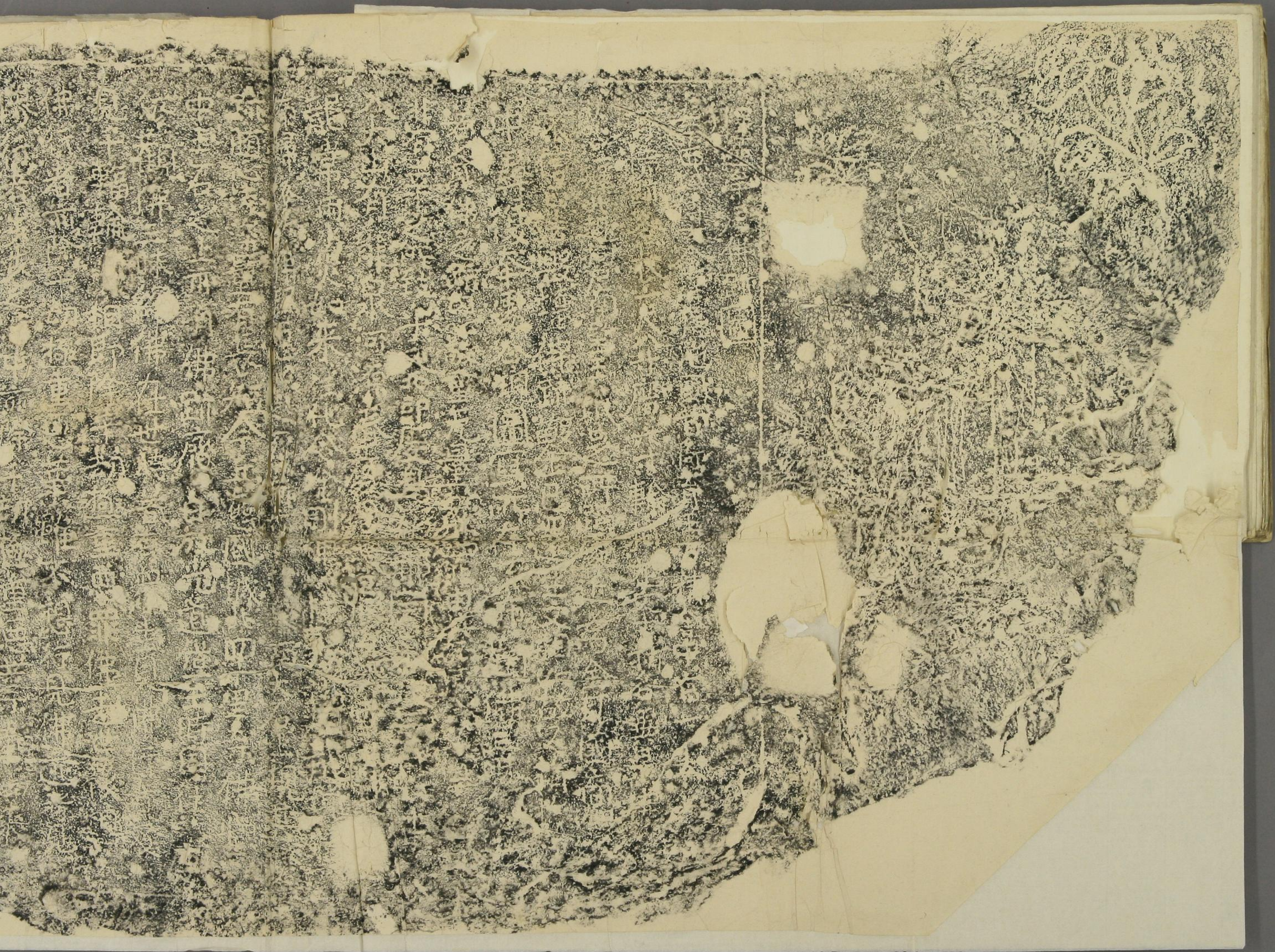
不波依各賀夏之阿止...

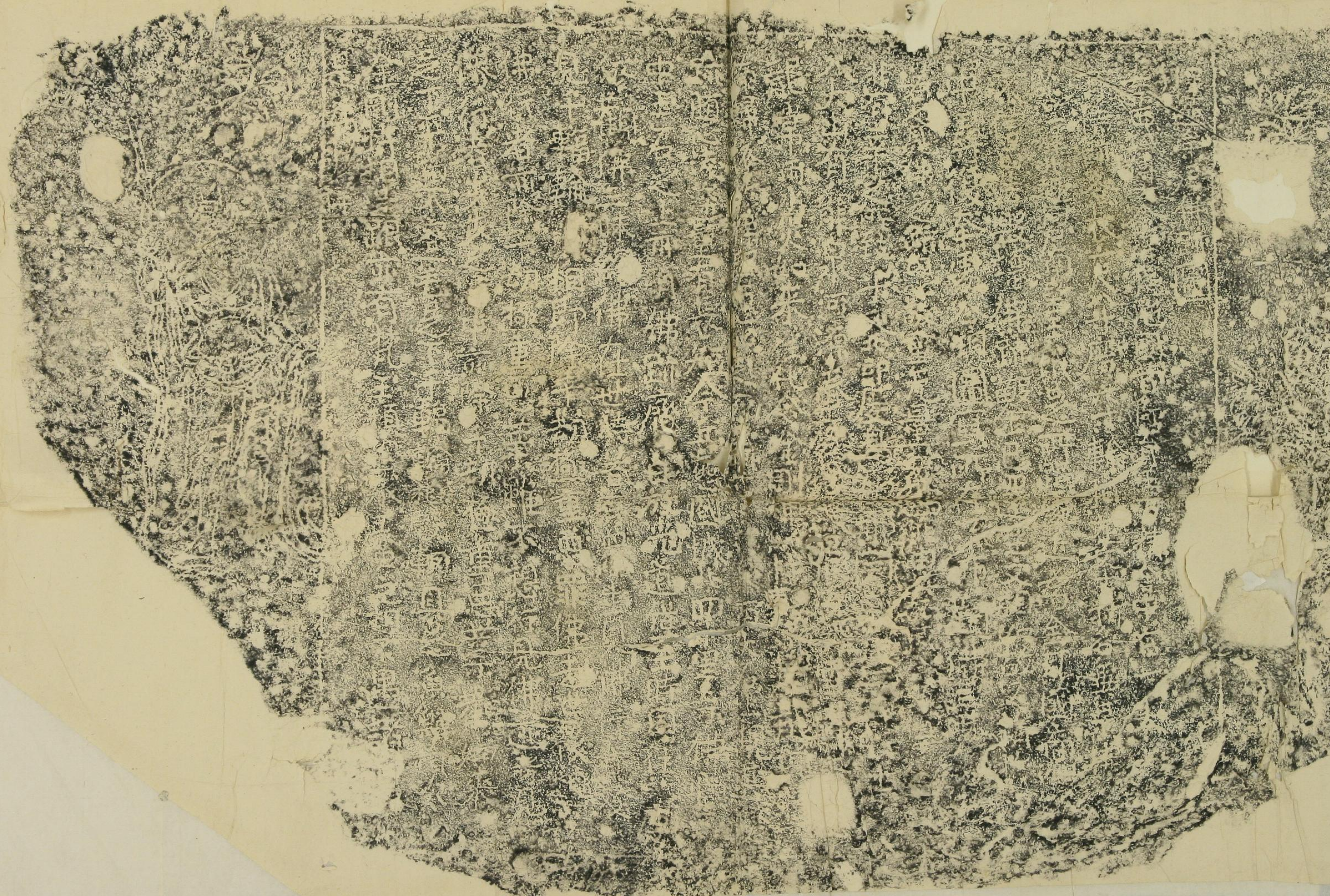
耐了爾美得此乃三乃之阿...

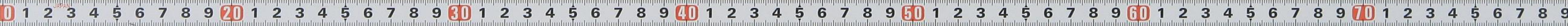
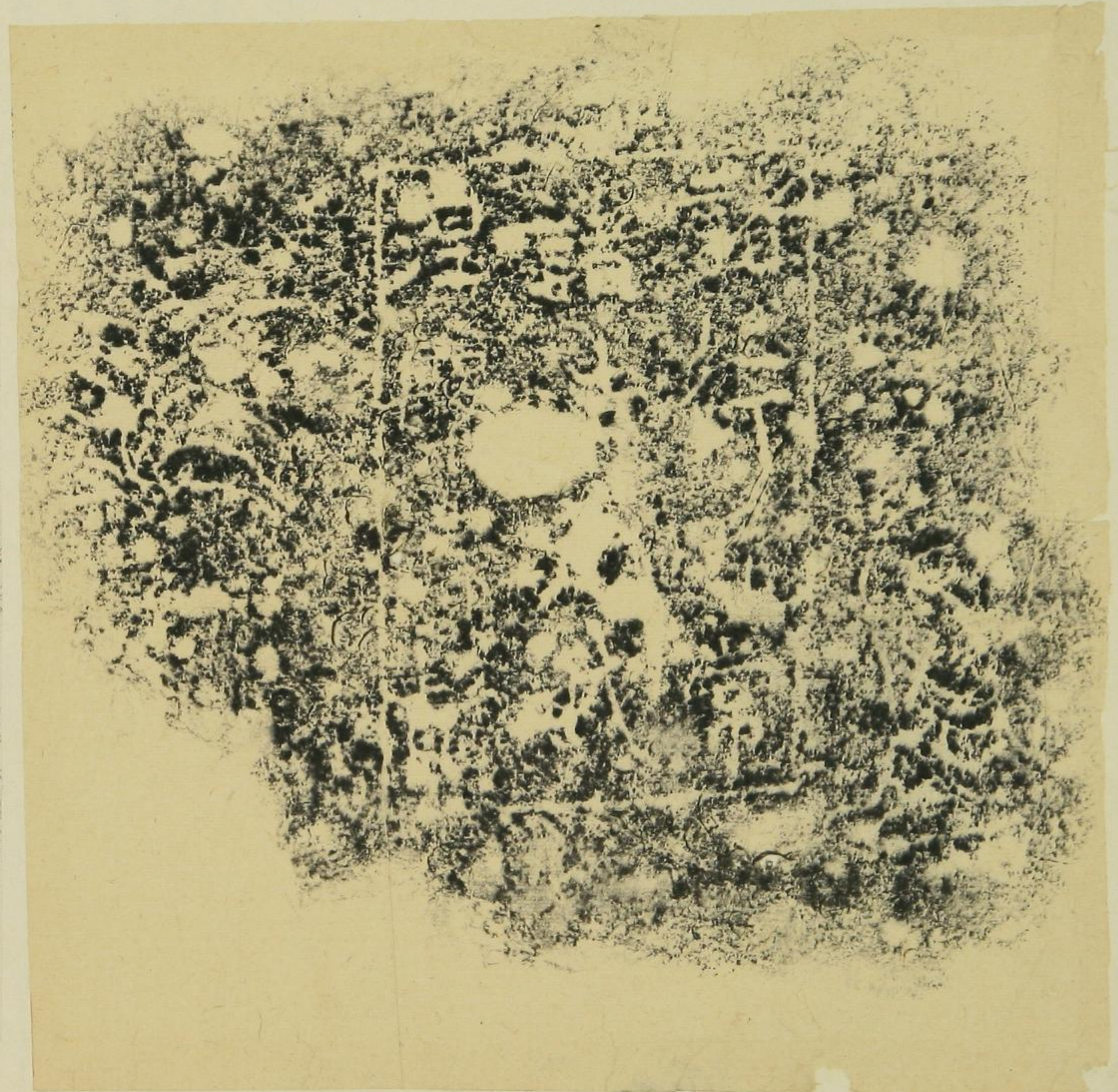
且此乃以利不願止波已...

此乃不為人其理師毛...

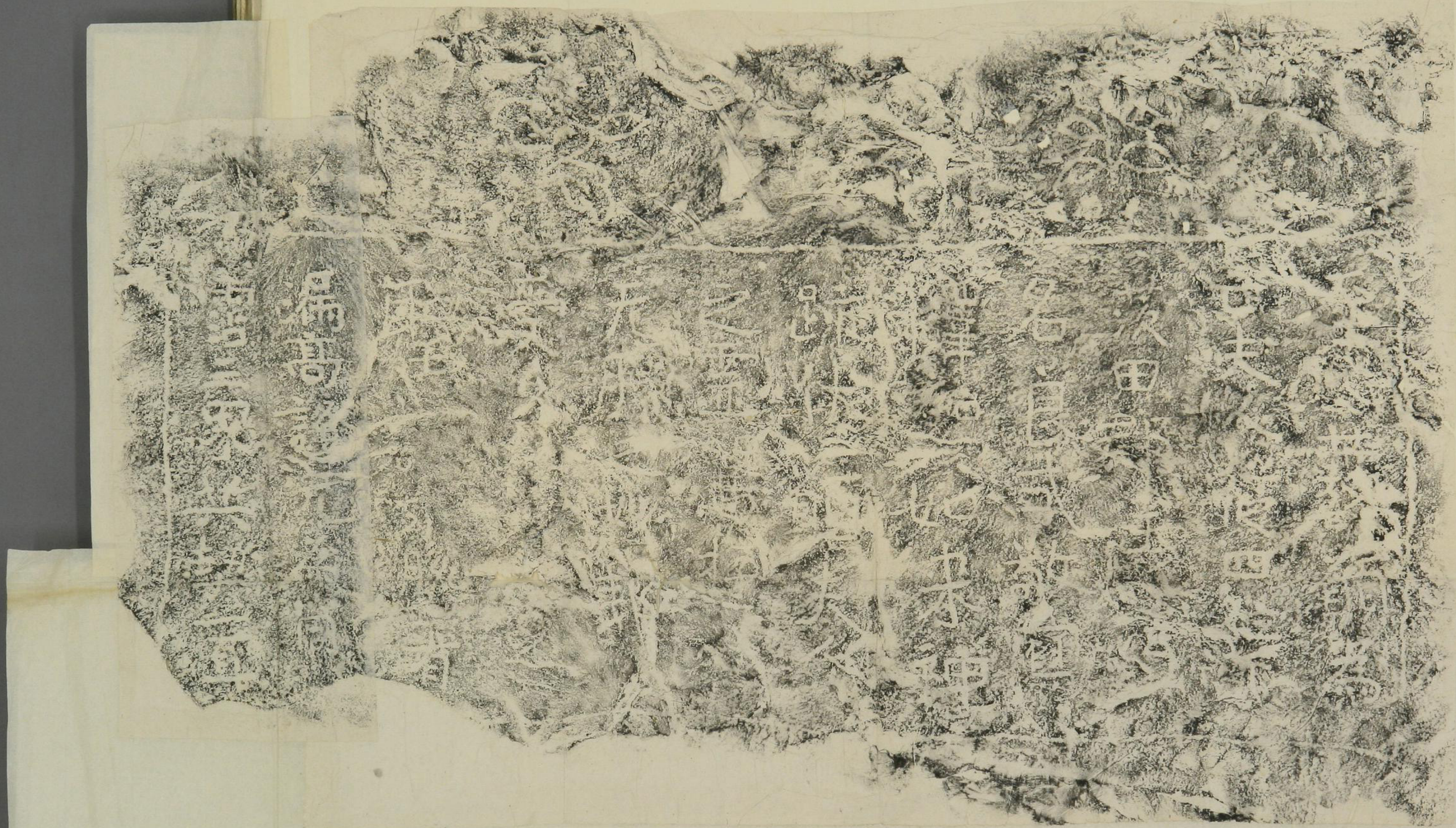












重 世平

子孫之

安少

多

長

利

僧

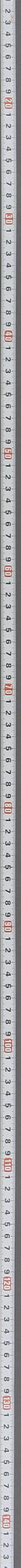
辛巳^歲集月三日記

此碑在... 羊石文副書

佐野三家定賜健守命孫黑賣刀自此
新川臣兒斯多^行之^足兒孫犬兒臣娶三^兒兒
長利僧母為記定文也 放光寺僧

元治元甲子暮秋日此碑捐

羊石文副書




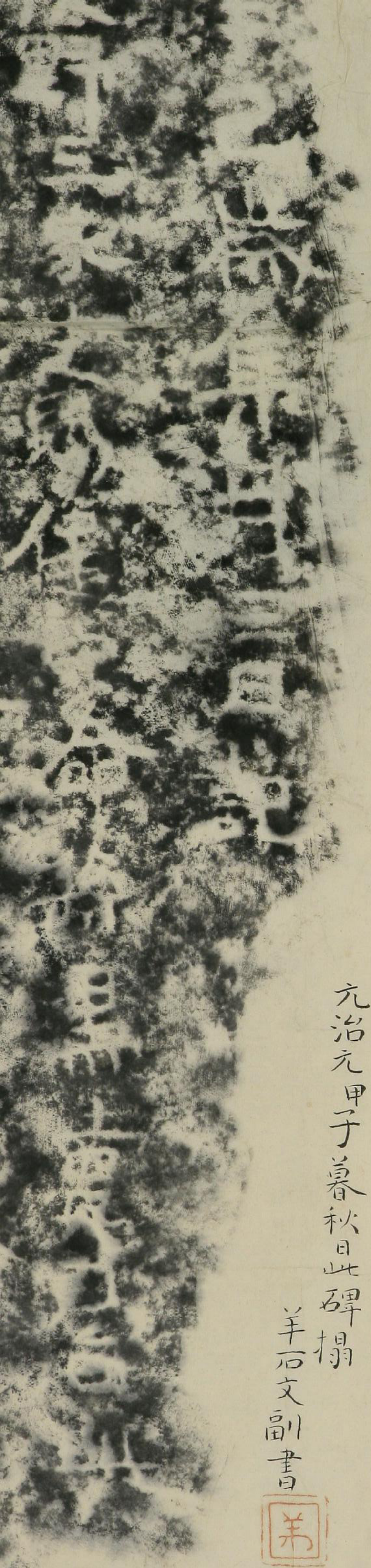
羊已集月三日記

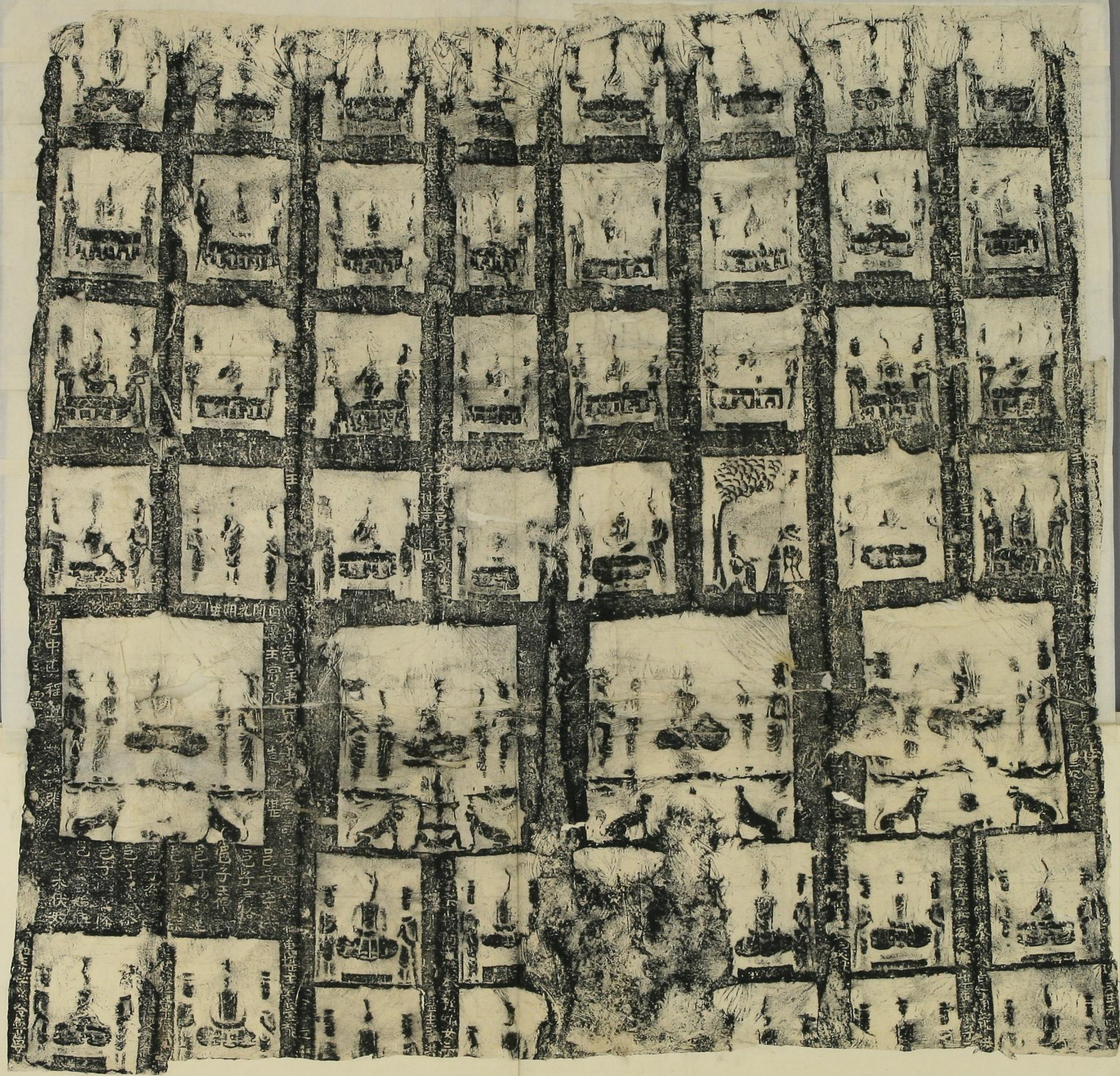
集古十種 上野国山名村 觀音堂 碑
永正の放光寺に下法を有るは、放光山とて、察其の坊ありし
始、ゆるも、原十の、幸とて、非とも、天平十三年の辛巳
を、面し、放光山、百平寺とて、之也、又、在、坂、常、三、夜、の、あり、
お、さ、ら、か、た、子、守、る、の、由、在、速、來、迎、の、法、院、の、像、を、刻、り、
之、下、に、建、治、四、年、戊、辰、月、日、あり、上、信、日、記、と、碑、の、事、に、云、

依野三家定賜健守命孫黑賣刀自此
新川臣兒斯多徐_子之_足兒孫犬兒臣取女三_兒個元
長利僧母為記定文也
放光寺僧

元治元甲子暮秋日此碑搨

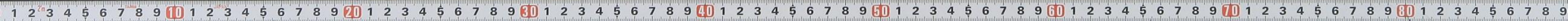
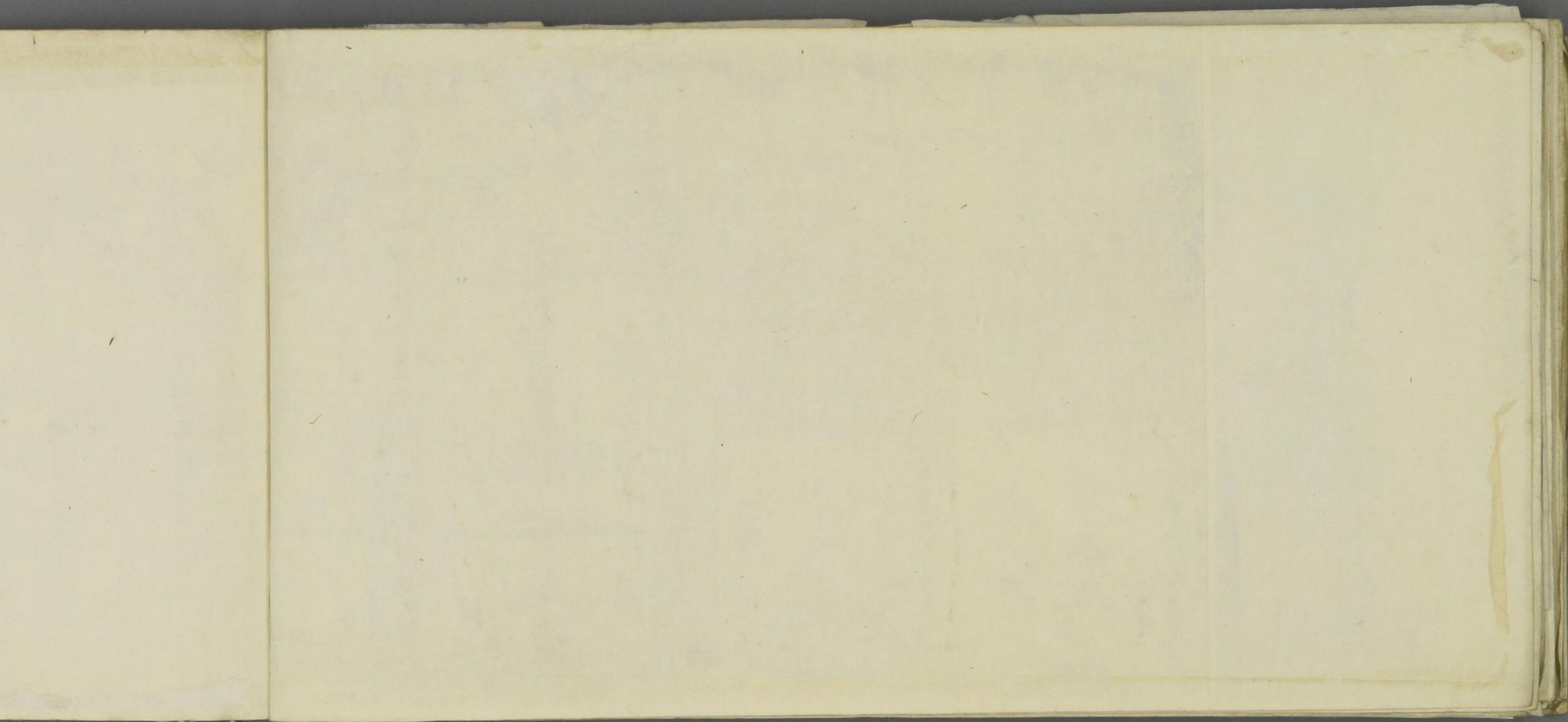
羊石文副書


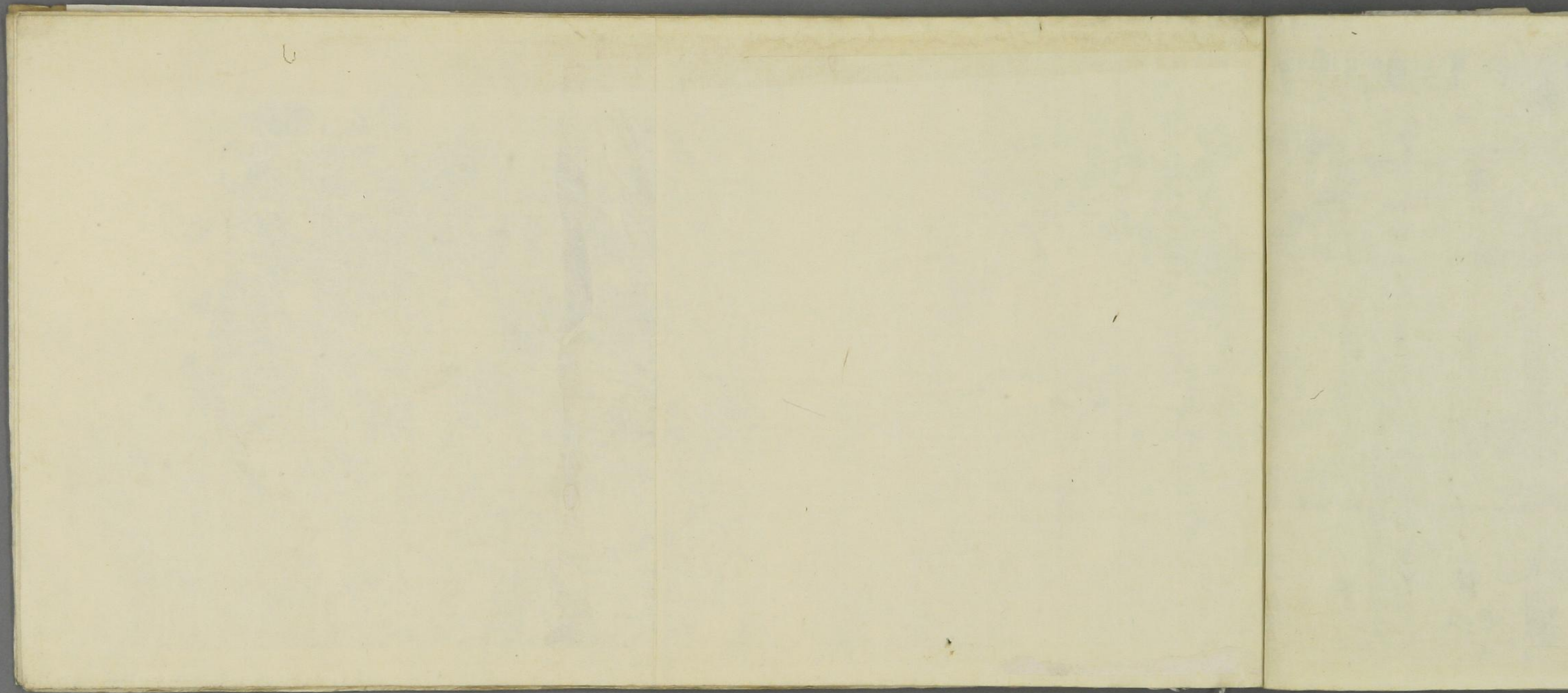




新編 御成吉思汗

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

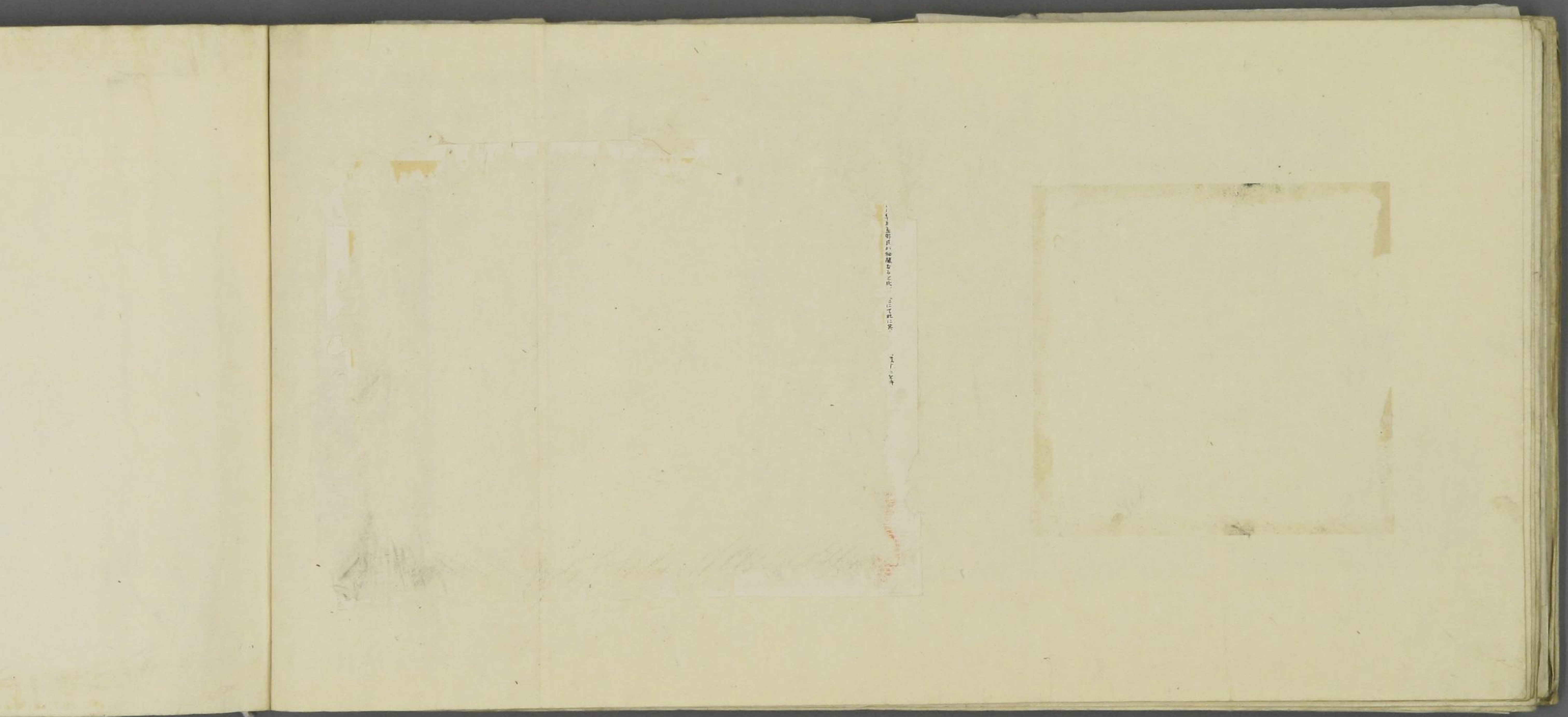




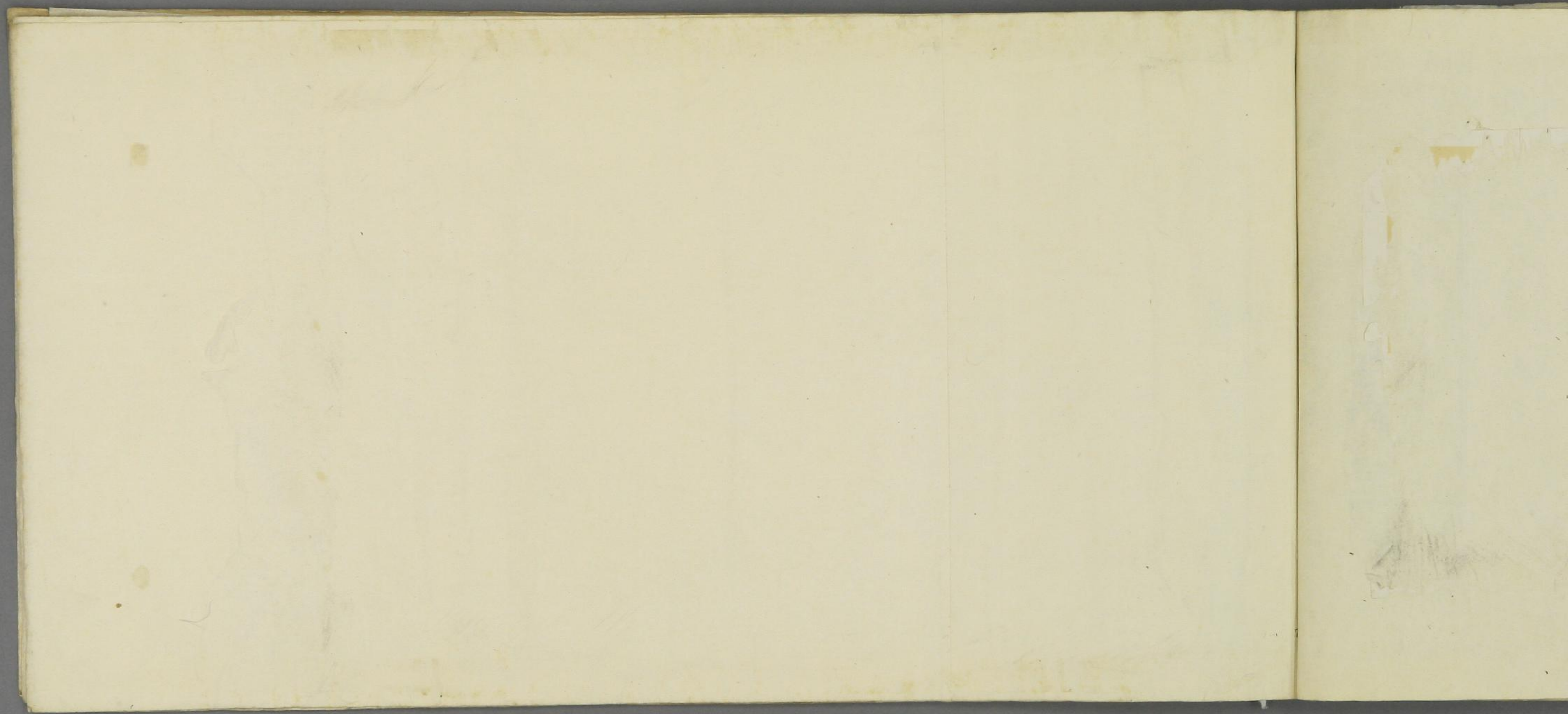


佛足跡石碑 天平勝寶
 四年所建 文室真人
 淨之心 正楷得一式 難
 深藏竹弓 底可愛玩
 田口朋良 珍藏



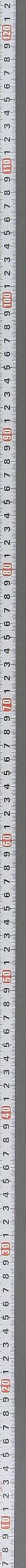


Handwritten text on a small vertical strip of paper, possibly a label or note, located between the two pages. The text is written vertically and is difficult to read due to its small size and fading.



集人石

奈良・北佐保山・内土人エリク山ト云山上・
指前・小社有リ山鳥居内至ス





并實符上野國伴里郡綠野郡甘
 良郡并三部內五百餘郡成給羊
 歲多胡郡和銅內四年三月九日甲寅
 宣左中弁匠五使下多治比真人
 太政官二品德清親王左大臣正三
 位西上尊守右大臣正二位藤原尊



1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

